

はじまりは大阪にあり！

井上 理津子

第六回 ニュージャパン観光

今や、都市部に無数にあるカプセルホテルの第1号は、1975年に大阪で生まれた。阪急東通商店街(北区)に面した、サウナで知られる「ニュージャパン梅田店」(ニュージャパン観光株式会社)内の「カプセル・イン梅田」。オープンの先立ち、(2月1日(木))ホテルが進化する。この新しい個室空間をどう使いこなすか、これこそ一人旅の男のセンスだ。

そんなコピーと、当時新進気鋭だった建築家・黒川紀章氏の顔写真が載った広告ポスターが新幹線の車内に登場し、目を引いた。この日本初のカプセルホテルは、黒川氏の設計だったのだ。

70年の大阪万博が発端。ビジネスホテルが林立し始めたその頃、ミニミのサウナで成功していたニュージャパン観光の中野幸雄社長(当時)

黒川紀章氏が手掛けたカプセルホテル第1号

が、次の事業に「安く快適な宿泊施設を」と模索する中、万博で目にしたカラベルモント株式会社のバビロン「タカラ・ビューティリオン」がふと頭に浮かんだ。ジャングルジムを思わ



今も現役のカプセルルーム(左)と開業時の広告(下)



セルの鋼管ユニットで、鋼管フレームに収められていた樹脂製のユニットルームが、狭いが快適な「未来のホテル」のイメージに重なったのだ。これが黒川氏の設計だったため、「カプセルのような宿泊施設を」と、黒川氏にアイデアを持ち込み、意気投合したのだという。

かくして出来上がったのが、ユニットバスなどに使われ始めていた「繊維強化プラスチック」を素材とした、テレビ付きの191×95×82の空間だ。他の新設ホテルが高級化を図っていたのと正反対で、狭いが「1600円」と格安の4500円。オープンの翌年、予約が殺到した。

「開業以来、連日満員なんですわ。これほど受けるとは思いませんでした。お客さんは30歳代を中心に40歳代もちらほら。半分以上が東京方面からの出張サラリーマン」と、当時の専務がサングラスを掛けたまま、高度経済成長の後

期。終電に乗り遅れたサラリーマンの宿泊も多かったと云う。

実は、この第1号のカプセルホテルは、今も「ニュージャパン梅田店」に残っていて、宿泊できる。平日1泊3400円。

井上理津子(いのうえりつ子)ノンフィクションライター。著書に、この連載の元である『新版はじまりは大阪にあり!』のほか、『大阪下町酒場列伝』『さいごの色街 飛田』『葬送の仕事師たち』『いまどきの納骨堂』などがある。故・大内弘(淀川区開業)の長女。

市民まつりで歯科健診「保険でよい歯科」啓発



北河内地区
北河内地区は10月27日(ひらかたごもまつり)で歯科健診を行い、128人が受診した。金田光秀・松本康宏両氏と歯科衛生士、歯科技士らが出務した(写真①)。

大阪市西部地区
大阪市西部地区は西淀川区のさくら診療所で3日に開かれた「糖尿病フ

大阪市南部地区
大阪市南部地区は3日、大阪きつがわ医療生協の健康まつりで歯科健診を実施した。小澤力・小澤悠両氏が出務し、29人が受診。来場者に「保

東大阪・八尾・柏原地区
東大阪・八尾・柏原地区は3日の八尾市民まつり会場で歯科健診に取り組み、123人が受診した。出務した矢部あづさ・海道充両氏は一人ひとり丁寧な歯の有無や歯肉の状態をチェックした(写真④)。

エスタで歯科相談を実施した。歯科衛生士2人が義歯の不具合や噛み合わせなどの悩みに応じた。68人が相談に訪れた(写真②)。

大阪市内で歯科相談を実施した。歯科衛生士2人が義歯の不具合や噛み合わせなどの悩みに応じた。68人が相談に訪れた(写真③)。

診療報酬改定・保団連要求を読む①

全国保険医団体連合会がまとめた「2020年度歯科診療報酬改定に向けた要求」の主な項目を連載で紹介する。全文は協会HP参照。

要求 個々に時間と技術を要して行われる診療行為に対する技術料の多くが依然低い評価に据え置かれているため、診療報酬に経費(人件費、間接経費)という考え方を取り入れ、適正に引き上げること。

理由 日本歯科医学会のタイムスタディー調査(16年)では、調査した診療項目775のうち、術料の多くが依然低い評価に据え置かれているため、診療報酬に経費(人件費、間接経費)という考え方を取り入れ、適正に引き上げること。

要求 院内感染防止対策に係る評価について、現行の施設基準(届出医療)を廃止し、基本診療料の医科歯科間に必要は全くない。

理由 07年の中央社会保険医療協議会で、歯科の院内感染防止対策の費用は患者一人当たり268・16円と試算されていたにもかかわらず、18年改定では初・再診料に3点ずつ上乗せされただけだった。安心安全の医療を実現するために初・再診料を大幅に引き上げ、少なくとも医科と同評価とすべきである。

また、院内感染防止対策は医療法で義務化されており、届出医療とする必要は全くない。

初再診料の大幅増を

「評価が低い」項目は7割近くに上った。さらに現行の保険点数は人件費から見てかなり低水準の評価となることが分かったとしている。

日常多く行われる抜歯や歯内療法などの診療報酬は長年低い評価のままになっていることから、技術料を抜本的に引き上げるべきである。

料に3点ずつ上乗せされただけだった。安心安全の医療を実現するために初・再診料を大幅に引き上げ、少なくとも医科と同評価とすべきである。

また、院内感染防止対策は医療法で義務化されており、届出医療とする必要は全くない。

参加ご希望の方は、必ず事前にお申し込み下さい。M&Dホールは保険医会館東隣りです。

協会行事案内

お申し込みは HP ask-net.org 電話 06-6568-7731 ファクス 06-6568-0564

女性医師・歯科医師の会

産婦人科が伝えたい子宮頸がんの話—HPVワクチンの最近の話題

日時 11月30日(土) 午後3時〜5時

会場 M&Dホール 定員 100人

講師 上田豊氏(大阪大学産婦人科講師)

会費 会員・スタッフ無料、未入会者1万円

大阪市内・北部地区講習会

根管治療を成功に導くためのポイント(感染根管治療編)

日時 11月30日(土) 午後6時〜8時

会場 M&Dホール 定員 100人

講師 山本信一氏(宝塚市開業)

会費 会員・スタッフ無料、未入会者1万円

北河内地区講習会

スウェーデンで行われているセルフケアとプロケアの二人三脚

日時 11月30日(土) 午後6時30分〜8時30分

会場 ドーンセンター(名線「天満橋」駅徒歩5分)

定員 50人

講師 西真紀子氏(最先端のむし歯・歯周病予防を要求する会理事長)

会費 会員・スタッフ無料、未入会者1万円

12月度生涯研修

小児の歯科治療—基本から最新トピックまで—

日時 12月8日(日) 午前10時〜午後1時

会場 M&Dホール 定員 100人

講師 仲野和彦氏(大阪大学大学院歯学研究科副研究科長・歯学部副学部長、同科小児歯科学教室教授)

会費 会員・スタッフ3千円、未入会者1万円

歯初診(院内感染防止対策)・外来環境の施設基準に係る研修会

日時 12月21日(土) 午後6時〜8時

会場 M&Dホール 定員 100人

講師 吉岡秀郎氏(大阪労災病院歯科口腔外科部長)

会費 3千円

※遅刻・途中退出された場合は修了証を発行できません。

無料相談

法律 12月2日(月) 午後2時〜4時

税務 12月18日(水) 午後2時〜5時

雇用 12月19日(木) 午後2時〜4時

※会場は保険医会館。1週間前までに要申し込み

未入会者とは、会員院所に勤める未入会勤務医です

※協会行事などを本紙等で報道・紹介するため、講習会などの写真で個人が特定されることがありますが、趣旨をご理解の上、ご了承ください。また、講習会でのビデオ撮影や録音はお断りします。